

国道415号県境部に関する有識者委員会 (第2回)

< 目 次 >

1.はじめに	・ ・ ・ ・ ・	1
2.意見聴取の概要と結果	・ ・ ・ ・ ・	8
2－1.意見聴取の実施内容	・ ・ ・ ・ ・	9
2－2.アンケート調査結果	・ ・ ・ ・ ・	17
2－3.ヒアリング調査結果	・ ・ ・ ・ ・	22
2－4.意見聴取結果まとめ	・ ・ ・ ・ ・	24
3.対応方針（案）の検討	・ ・ ・ ・ ・	25
4.対応方針（案）のまとめ	・ ・ ・ ・ ・	29

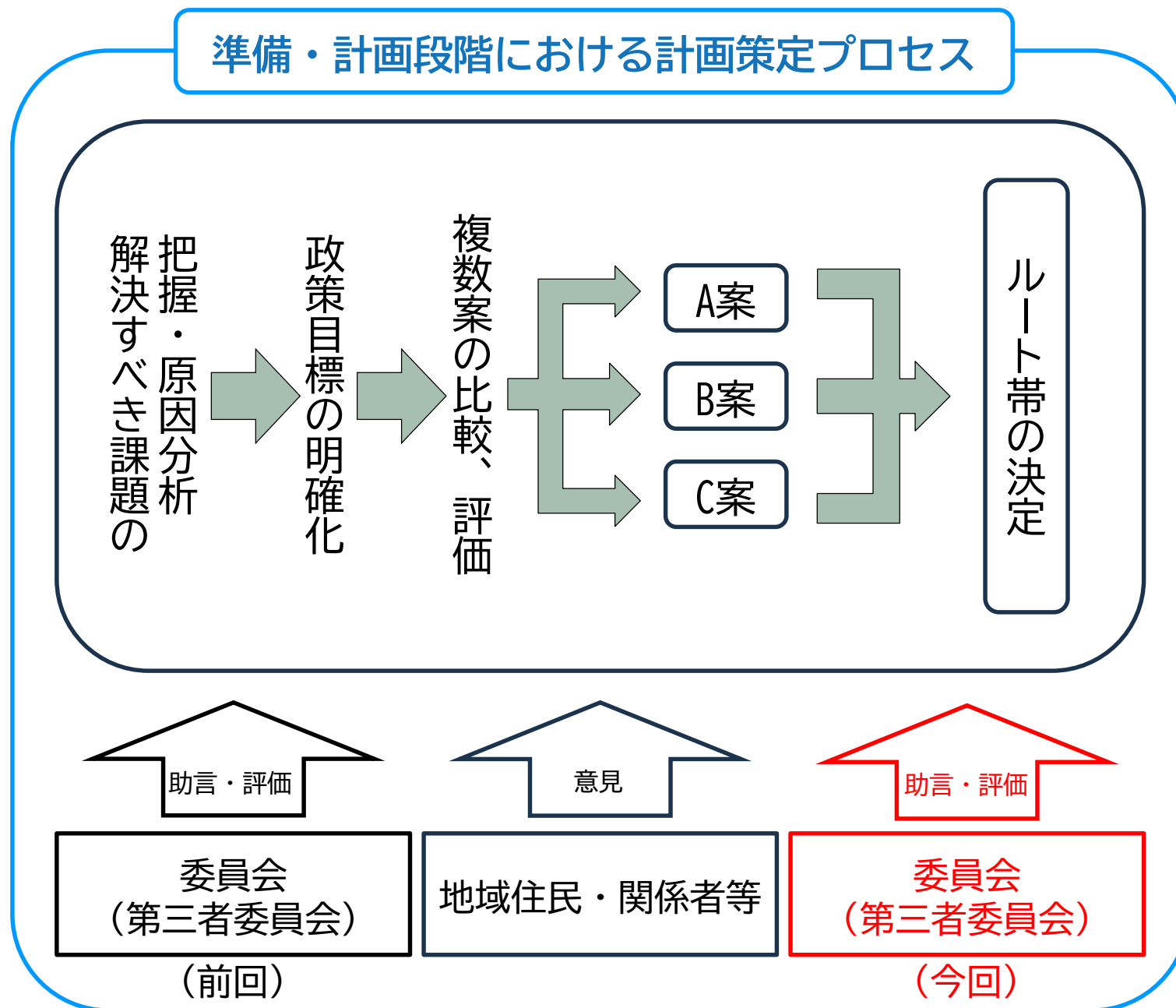
令和6年10月9日（水）

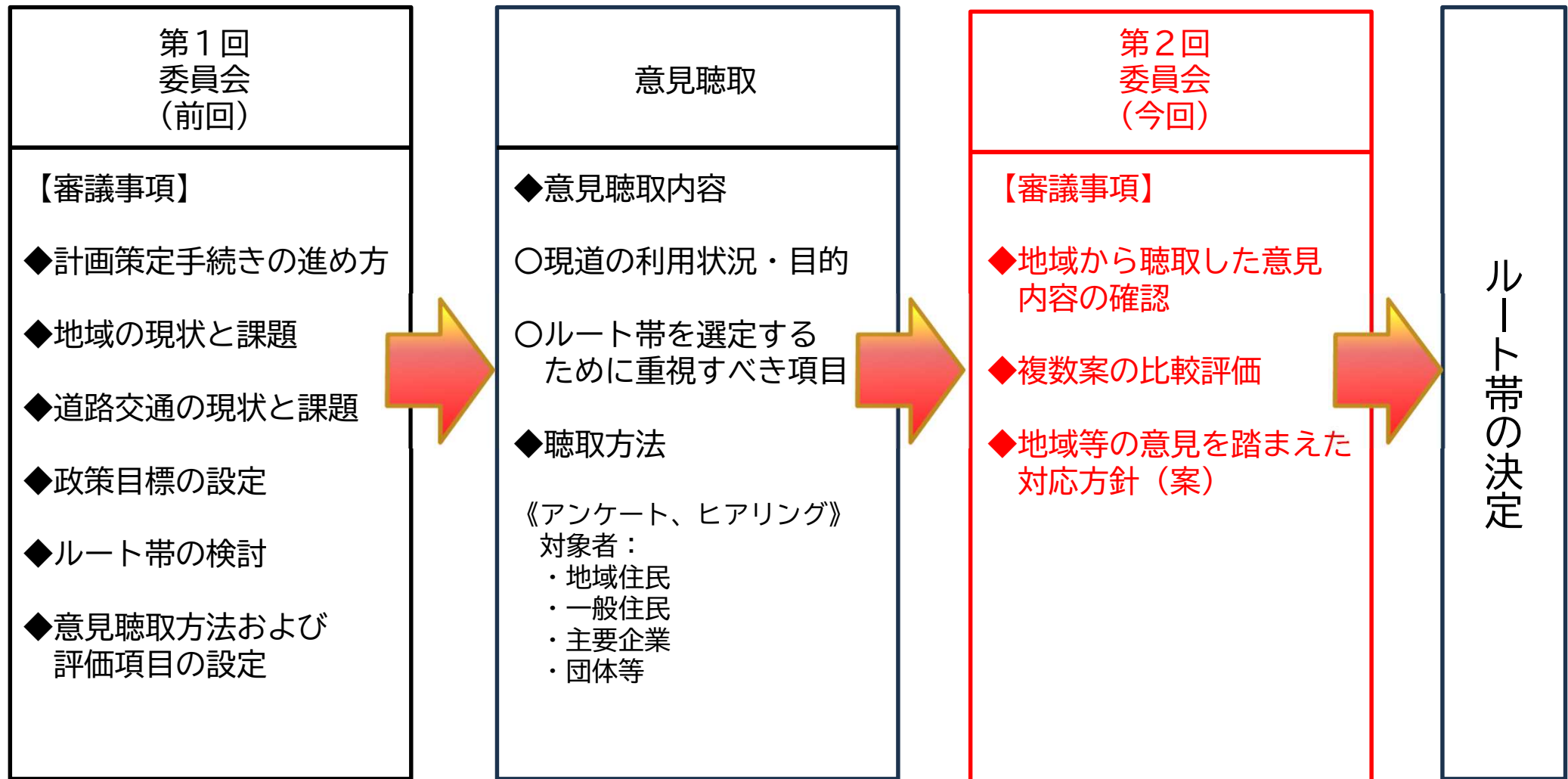
1. はじめに

国道415号整備状況

- 国道415号は石川県羽咋市を起点に富山県氷見市を經由して同県富山市に至る東西幹線道路である。
- 国道415号の富山石川県境付近において、石川県側では羽咋バイパスがR5年10月に供用し、神子原地区の整備延伸を事業中である。富山県側では谷屋大野バイパスを事業中である。
- 調査検討範囲は、上記整備区間に挟まれた石川県羽咋市神子原町～富山県氷見市谷屋間の約5.2kmである。







■第1回 国道415号県境部に関する有識者委員会

- 実施日：令和6年7月17日（水）
- 実施場所：富山県防災危機管理センター 2F 中会議室（Web併用）
- 議事内容：（1）設置要綱、設置要領
（2）現状と課題
（3）ルート帯の検討
（4）意見聴取方法及び評価項目の設定
- 結論：政策目標(案)、ルート帯(案)の設定および意見聴取方法(案)については妥当。

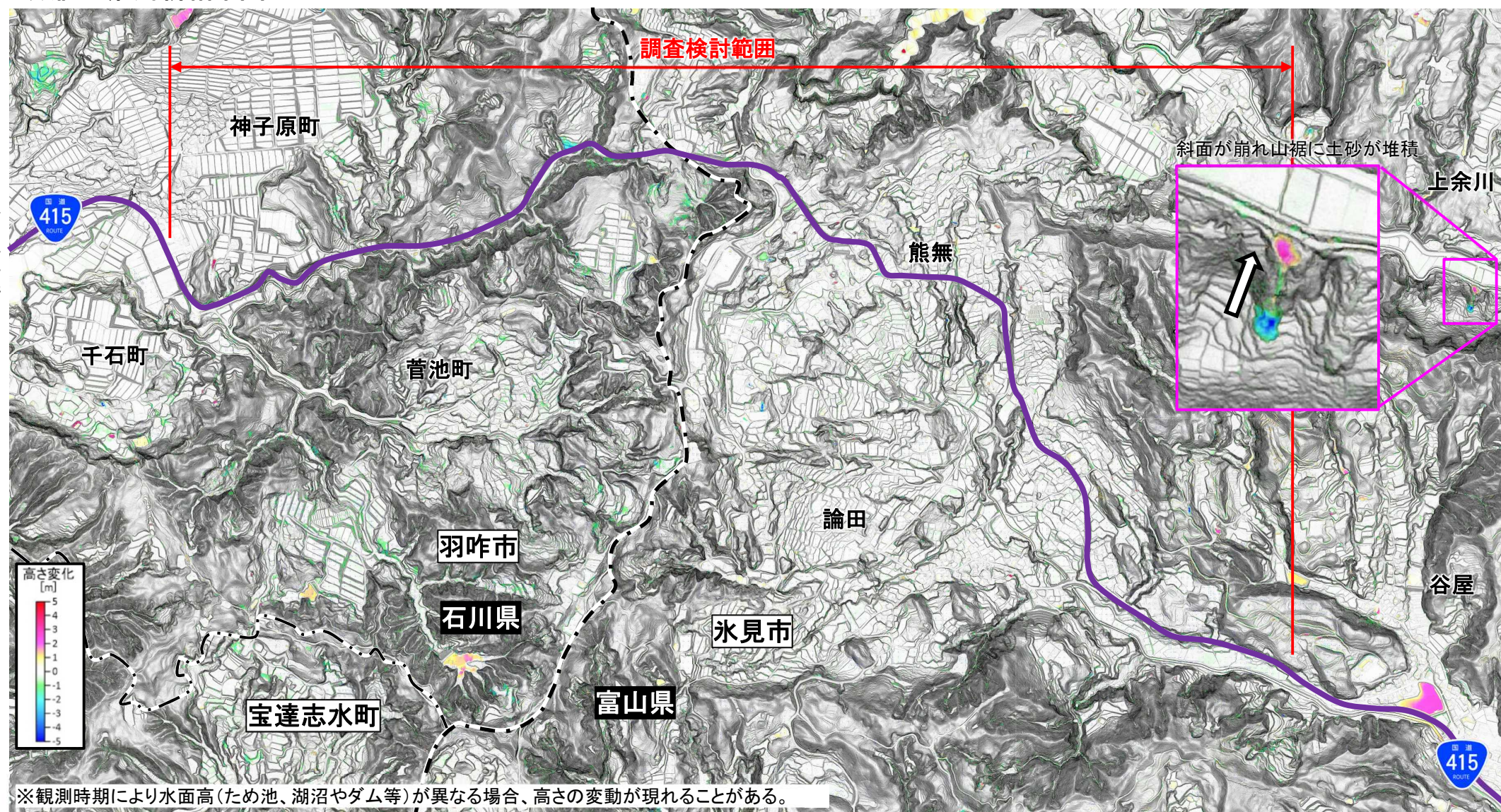


●委員からの主なご意見と回答内容

主なご意見		回答内容
3. 地域の現状と課題 4. 道路交通の現状と課題		
・県境部の地すべり地帯は令和6年能登半島地震の前後で変状があったか	➡	・当該区間の現道部では大きな被災は確認されていない ・当該地域として変状があったかに関しては、数値地形解析や傾斜計により変状がないことを確認する。（6～7ページ参照）
6. ルート帯の検討 7. 意見聴取方法および評価項目の設定（案）		
・今回の検討区間は、広域交通に加え、沿道集落の維持・活性化効果も高いため、沿道集落への意見聴取は丁寧に行ってはどうか	➡	・検討範囲に隣接する集落を含む5集落に対し、アンケート票を全戸配布する（16ページ参照） ・沿道集落の代表者や関係機関へのヒアリングも実施する（16ページ参照）
7. 意見聴取方法および評価項目の設定（案）		
・アンケートの設問が「重視すべき項目」という抽象的な内容なので、調査票だけではなく、背景的な説明が必要ではないか	➡	・アンケート票、ポスター、チラシ等にアンケート目的を明示する ・アンケート票には、課題、政策目標、比較案をまとめた資料を添付する（12～15ページ参照）

- 富山県(H30年度)と石川県(R5年度)の既往データと、令和6年能登半島地震後に新たに計測されたデータを比較して富山・石川県境における地形変動状況を解析。
- 解析結果から、調査検討範囲内において、上下・水平方向共に大きな変化がないことを確認。
- 調査検討範囲から外れた上余川地先において斜面が崩れた形跡があった。

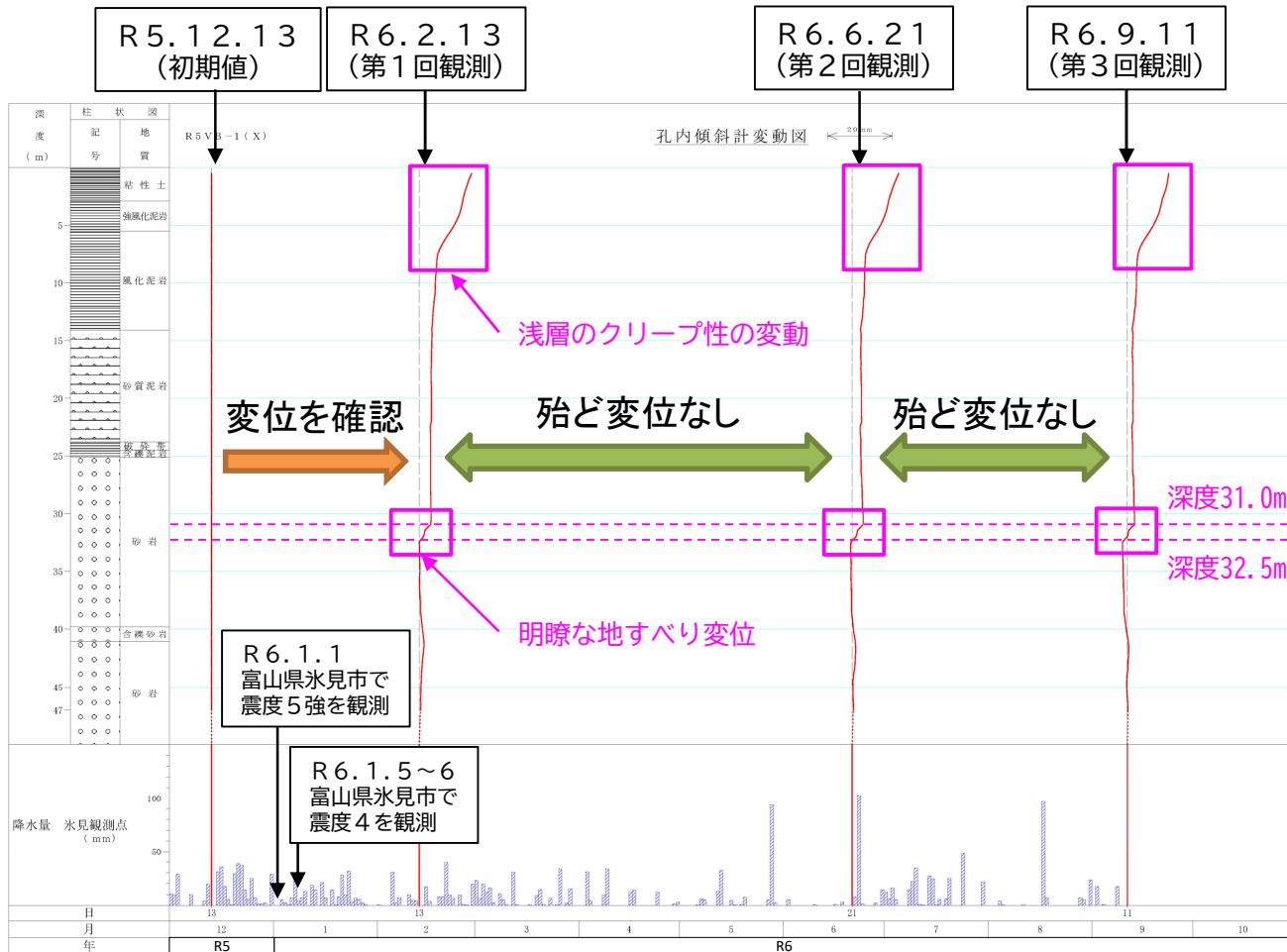
■数値地形解析結果図



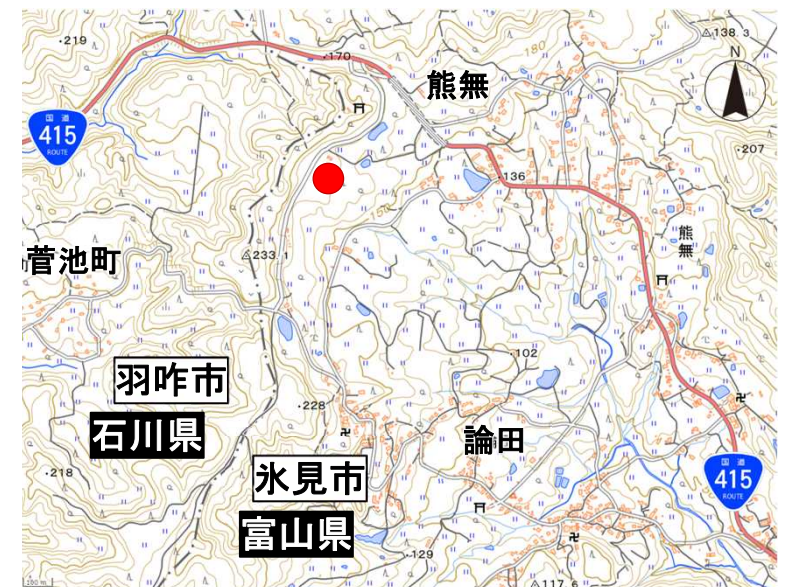
ひ み く ま な し

- 氷見市熊無の天狗林健康広場に設置済の孔内傾斜計を用い、地形変位を確認。
- 地下32m付近において、R5.12月からR6.2月にかけて、合成変位で4.12mmの変位を確認。令和6年能登半島地震にて、わずかに変位したものと想定。
- 令和6年2月から9月にかけては殆ど変位がないことを確認。ただし、今後も監視を継続予定。

■ 孔内傾斜計による変動図 (R5.12.13～R6.9.11)



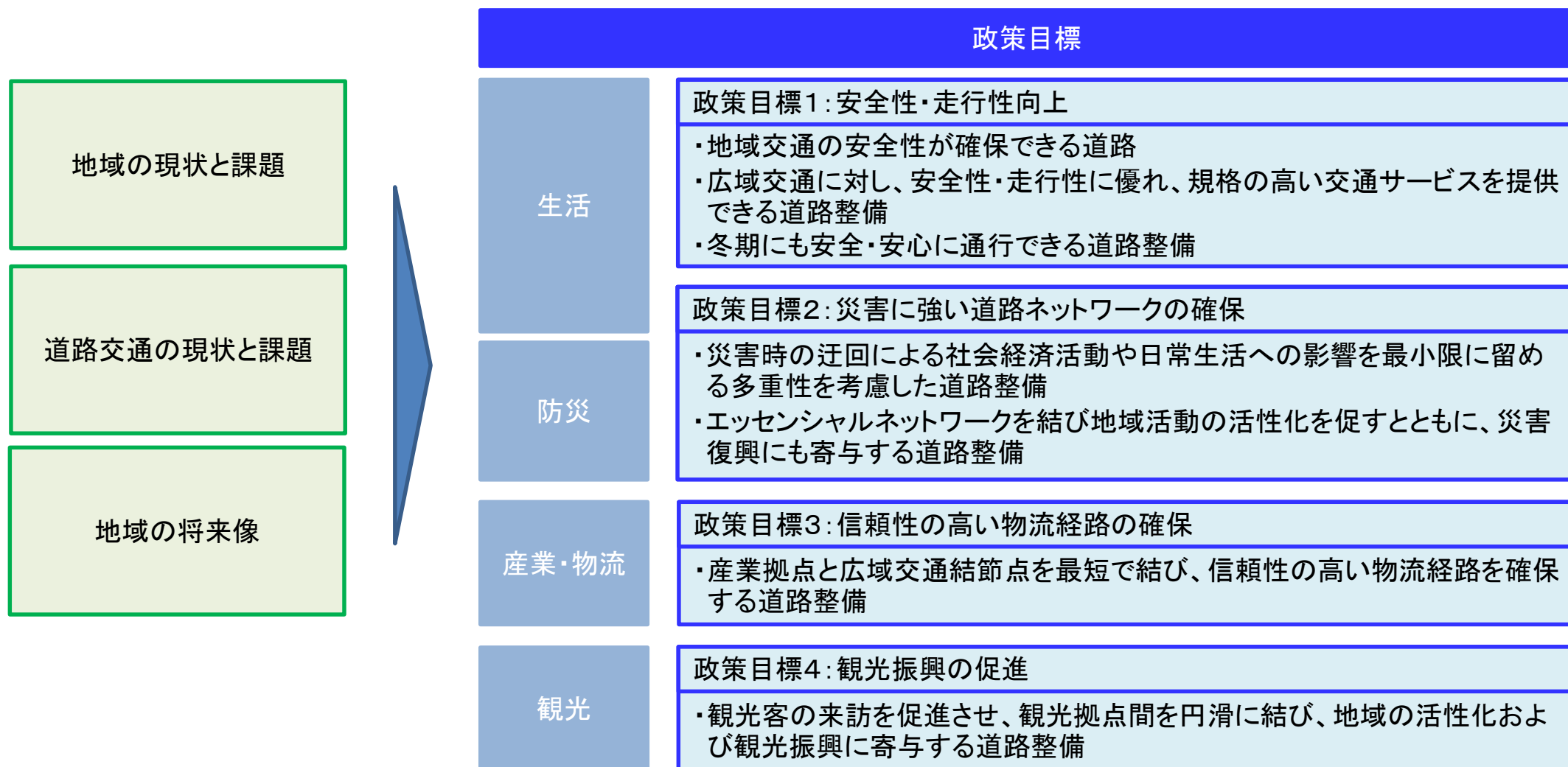
■ 孔内傾斜計設置位置図



2. 意見聴取の概要と結果

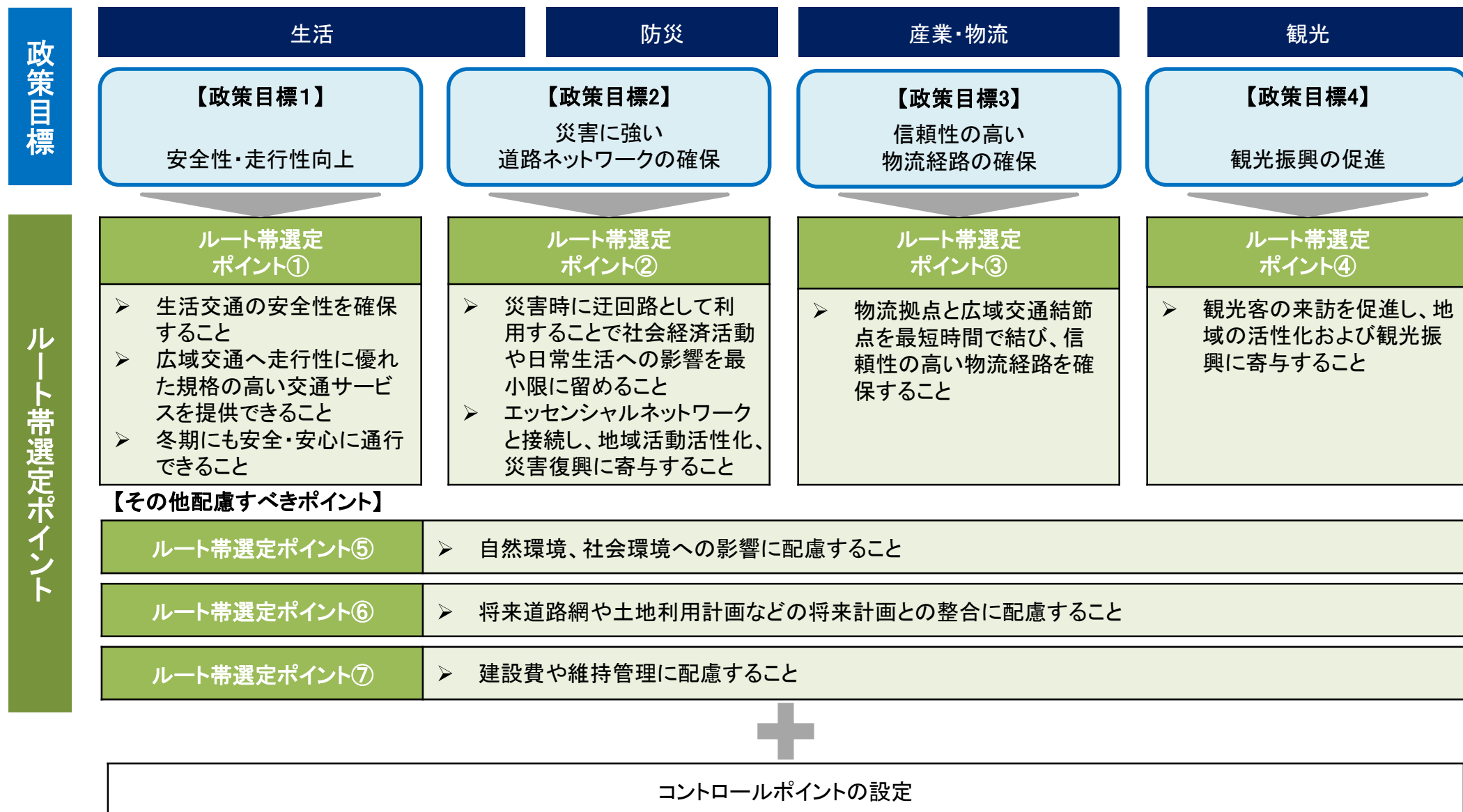
(1)政策目標

- 前回委員会において「地域の現状と課題」、「道路交通の現状と課題」、「地域の将来像」を踏まえ、政策目標を設定。



(2) ルート帯選定ポイント

- 政策目標から、ルート帯選定ポイントを整理し、配慮すべき事項を設定した。
- ルート帯の検討にコントロールポイントを設定した。
- 3つのルート帯を提案し、政策目標に合った最適なルート帯を選定する。



(3) ルート帯を選定するために重視すべき項目とアンケート内容の設定

- 意見聴取の項目のうち、「ルート帯選定ポイント」から「ルート帯を選定するために重視すべき項目」として、9項目＋その他を設定した。これに、回答者の属性や国道415号の道路利用の設問等を加え、アンケート内容を設定した。

ルート帯選定ポイント

①生活交通の安全性を確保し、広域交通へ走行性に優れた規格の高い交通サービスを提供し、冬期にも安全・安心に通行できること

②災害時の迂回による社会経済活動や生活への影響を最小限に留め、エッセンシャルネットワークと接続し、地域活動活性化、災害復興に寄与すること

③物流拠点と広域交通結節点を最短時間で結び、信頼性の高い物流経路を確保すること

④観光客の来訪を促進し、地域の活性化および観光振興に寄与すること

⑤自然環境、社会環境への影響に配慮すること

⑥将来道路網や土地利用計画などの将来計画との整合に配慮すること

⑦建設費や維持管理に配慮すること

ルート帯を選定するために重視すべき項目

①交通事故が少なく、冬期にも安全・円滑に走行できること

②事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと

③最短時間で通過できること

④中心市街地へのアクセス性に優れ、観光客の来訪を促進し、地域の活性化および観光振興に寄与すること

⑤自然環境への影響が少ないこと

⑥家屋・田畑等への影響が少ないこと

⑦周辺市町の活性化につながる将来開発を支援すること

⑧集落とのアクセス性に配慮していること

⑨建設費・維持管理費が安いこと

⑩その他

アンケート内容の設定

A. 回答者の特性
a. 住所、b. 年齢、c. 職業、d. 性別、e. 運転免許

B. 国道415号の道路利用
a. 手段、b. 頻度、c. 目的、d. 目的地

C. ルート帯検討の際に重視すべき項目

①交通事故が少なく、冬期にも安全・円滑に走行できること

②事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと

③最短時間で通過できること

④市街地へのアクセス性に優れ、観光客の来訪を促進し、地域の活性化および観光振興に寄与すること

⑤自然環境への影響が少ないこと

⑥家屋・田畑等への影響が少ないこと

⑦主要都市間の連携強化を支援すること

⑧集落とのアクセス性に配慮していること

⑨建設費・維持管理費が安いこと

⑩その他

D. ルート帯検討の際に配慮すべき事項

E. その他（自由回答）

(4) 調査内容

■ アンケート調査票

国道415号富山・石川県境部
みちづくりに関するアンケート調査

本アンケートは、国道415号県境部の道路整備にあたり、計画の初期段階から、地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見を募り、計画に反映するものです。

今回は、道路のルート帯を選定する際に、重視すべき指標（走行性、安全性、利便性等）についてお伺いします。

調査結果は、集計・とりまとめ後、富山県・石川県・富山河川国道事務所・金沢河川国道事務所のホームページに掲載予定です。調査結果は統計的に処理し、個人のご意見等が特定されることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の主旨にご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



返信用ハガキ

※投函する場合は、✂キリトリ線で切り取ってから投函してください。

郵便はがき



富山市奥田新町2番1号

国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所 計画課 行

あなたについてお聞かせください。

住所	1. 氷見市熊無 3. 氷見市その他 4. 羽咋市神子原町 7. 羽咋市その他 8. 高岡市 11. 宝達志水町 13. その他	2. 氷見市論田 5. 羽咋市千石町 6. 羽咋市菅池町 9. 七尾市 12. 中能登町 都・道・府・県 市・区・町・村
年齢	1. 10代 5. 50代	2. 20代 6. 60代
職業	1. 会社員 5. 主婦・主夫	2. 公務員 6. 無職
性別	1. 男性 2. 女性	3. 回答しない
運転免許	1. あり 2. なし	

※個人情報第三者に開示・提供することはありません
(法令により開示を求められた場合を除きます)

あなたについてお聞かせください。

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。「その他」を選択された方は()内に具体的な住所または職業をお書きください。

住所	1. 氷見市熊無 3. 氷見市その他 4. 羽咋市神子原町 6. 羽咋市菅池町 7. 羽咋市その他 8. 高岡市 11. 宝達志水町 13. その他	2. 氷見市論田 5. 羽咋市千石町 9. 七尾市 10. 志賀町 12. 中能登町 都道府県 市区町村
年齢	1. 10代 4. 40代 7. 70代以上	2. 20代 5. 50代 6. 60代
職業	1. 会社員 4. 学生 7. その他	2. 公務員 5. 主婦・主夫 6. 無職
性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない	
運転免許	1. あり 2. なし	

⇒裏面に続きます

皆様のご意見をお聞かせください！

アンケート回答締め切り

令和6年8月23日(金)まで

問1 国道415号の道路利用について

国道415号の道路利用についてお聞かせします。
(該当するもの1つに○を付けてください)

A. 自動車の利用	1. はい(自分で運転している) 2. はい(他の人が運転する自動車に同乗) 3. いいえ ※問2へ
B. 利用頻度	1. 週に5回以上 3. 週に1~2回 5. 年に数回 6. 利用したことがない(※問2へ)
C. 利用目的	1. 通勤・通学 3. 家事・買物 5. 観光・レジャー 6. その他(※具体的な内容をお書きください)
D. 主な目的地	1. 富山県東部(富山市、魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町) 2. 高岡市 3. 氷見市 4. 砺波市 5. 小矢部市 6. 南砺市 7. 射水市 8. 能登北部(輪島市、珠洲市、穴水町、能登町) 9. 七尾市 10. 羽咋市 11. 志賀町 12. 宝達志水町 13. 中能登町 14. 石川県南部(金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町) 15. 新潟県方面 16. 福井県方面 17. 岐阜県方面

問2 今回、複数のルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選定する際に重視すべき項目はどれだとお考えですか？
※該当するものに○をつけてください(3つまで回答可)

1. 交通事故が少なく、冬期にも安全・円滑に走行できること
2. 事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと
3. 最短時間で通過できること
4. 市街地へのアクセス性に優れ、観光客の来訪を促進し、地域の活性化および観光振興に寄与すること
5. 自然環境への影響が少ないこと
6. 家屋・田畑等への影響が少ないこと
7. 主要都市間の連携強化を支援すること
8. 集落とのアクセス性に配慮していること
9. 建設費・維持管理費が安いこと
10. その他()

問3 問2でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせください。

※解答欄にご記入ください

問4 これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聞かせください。

※解答欄に、国道415号に関するご意見について、ご自由にお書きください

アンケートのお問い合わせ先

■調査実施主体
富山県 土木部 道路課
〒930-8501 富山県富山市綿曲輪1丁目7番地
電話：076-444-3318
URL：https://www.pref.toyama.jp

石川県 土木部 道路建設課
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
電話：076-225-1721
URL：https://www.pref.shikawa.lg.jp/index2.html

富山河川国道事務所 計画課
〒930-0857 富山市奥田新町2番1号
電話：076-443-4717
URL：https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/

金沢河川国道事務所 計画課
〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号
電話：076-264-9912
URL：https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/

■調査協力自治体
水見市 建設部 道路課
電話：0766-74-8071

羽咋市 産業建設部 地域整備課
電話：0767-22-1119

✂キリトリ線
アンケート回答欄

問1 国道415号の道路利用について
(主たる道路利用に対し、該当する番号に1つだけ○)

A. 1. はい(自分で運転)	2. はい(他車に同乗)	3. いいえ(問2へ)
B. 1. 週に5回以上	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回
4. 月に1~2回	5. 年に数回	6. 利用したことがない(問2へ)
C. 1. 通勤・通学	2. 通院	3. 家事・買物
4. 仕事(営業・運送等)	5. 観光・レジャー	6. その他()
D. 1. 富山県東部	2. 高岡市	3. 氷見市
4. 砺波市	5. 小矢部市	6. 南砺市
7. 射水市	8. 能登北部	9. 七尾市
10. 羽咋市	11. 志賀町	12. 宝達志水町
13. 中能登町	14. 石川県南部	15. 新潟県方面
16. 福井県方面	17. 岐阜県方面	

問2 今回、複数のルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選定する際に重視すべき項目はどれだと思われませんか？
(該当する番号に○ ※3つまで回答可)

1. 交通事故が少なく、冬期にも安全・円滑に走行できること
2. 事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと
3. 最短時間で通過できること
4. 市街地へのアクセス性に優れ、観光客の来訪を促進し、地域の活性化および観光振興に寄与すること
5. 自然環境への影響が少ないこと
6. 家屋・田畑等への影響が少ないこと
7. 主要都市間の連携強化を支援すること
8. 集落とのアクセス性に配慮していること
9. 建設費・維持管理費が安いこと
10. その他()

問3 問2でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせください。

問4 これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

(4) 調査内容

■パンフレット(1/2: 表面)

国道415号富山・石川県境部の課題と政策目標

国道415号富山・石川県境部における課題を抽出し、解決するための政策目標を設定しました。

課題

【走行性と安全性】

- ・国道415号富山・石川県境部には、急な坂道、急カーブ、道路の幅が狭い区間がある。
- ・冬期は、凍結や積雪により路面状態が悪化すると、スリップ事故が発生しやすくなる。



【災害リスク】

- ・国道415号は災害時の緊急輸送道路かつ志賀原発の避難経路に指定されているが、地すべり地帯を通過しており、災害時には通行止等のリスクが高い。
- ・国道415号が通行止になった場合、能越自動車道・国道8号・北陸自動車道等に大きく迂回しなければならない。

■地質の特徴



資料:防災科学技術研究所 地すべり地形分布図(50%超過で電子国土web標準地図を表示)に加工

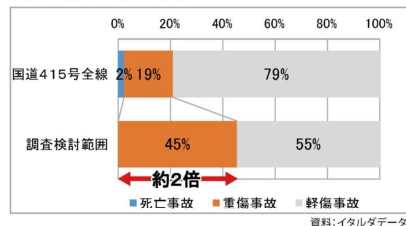
高規格道路へのアクセス

- ・国道415号は急な坂道、急カーブ、道路の幅が狭い区間があるため、能越自動車道・のと里山海道と接続するアクセス道路としては、観光バスや物流トラックの走行に支障がある。

【交通事故】

- ・国道415号全体に比べ、調査検討範囲は事故が発生すると重大事故(死亡事故・重傷事故)につながりやすい。

■重大事故の発生状況



【観光支援】

- ・魅力のある観光地をつなぐネットワークが未完成である。

■観光イメージ



政策目標

- ①安全性・走行性向上
- ②災害に強い道路ネットワークの確保
- ③信頼性の高い物流経路の確保
- ④観光振興の促進

国道415号富山・石川県境部
みちづくりに関するアンケート調査

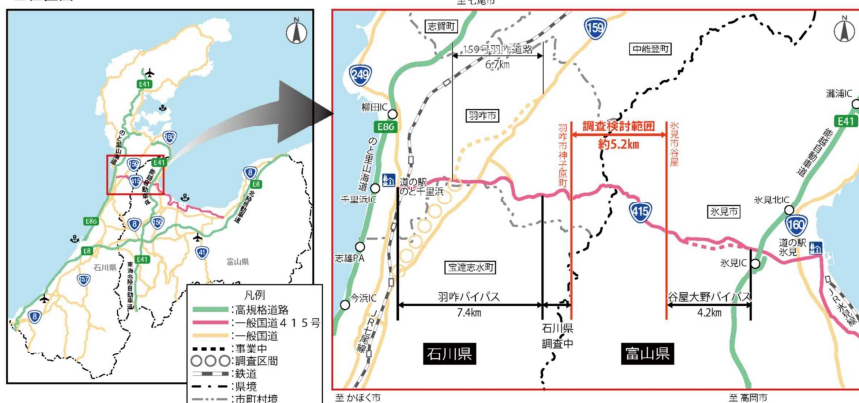
本アンケートは、国道415号富山・石川県境部の道路整備にあたり、計画の初期段階から、地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見を募り、計画に反映するものです。

今回は、道路のルート帯を選定する際に、重視すべき指標(走行性、安全性、利便性等)についてお伺いします。

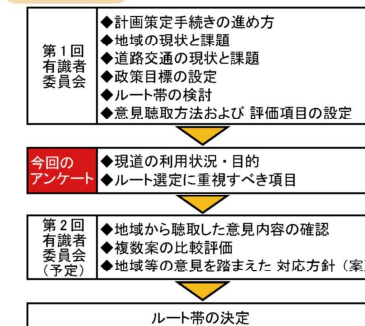
調査結果は、集計・とりまとめ後、富山県・石川県・富山河川国道事務所・金沢河川国道事務所のホームページに掲載予定です。調査結果は統計的に処理し、個人のご意見等が特定されることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の主旨にご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■位置図



手続きの流れ



- アンケート調査の詳細情報は、北陸地方整備局 富山河川国道事務所の「国道415号富山・石川県境部専用サイト」をご覧ください。

◆URL
<https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/hakuihimi/>

◆二次元コード



道路事業の透明性・効率性を高めるため、道路の整備方針について地域のご意見(地域の皆様、道路利用者、関係団体等)を聞きながら、第三者による有識者委員会を審議いたします。

富山県、石川県、国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所
 永見市、羽咋市

(4) 調査内容

■パンフレット(2/2:裏面)

国道415号富山・石川県境部のルート帯(案)比較表



	Aルート(5.4km)	Bルート(4.8km)	Cルート(5.0km)
ルート帯の概要	現道を最大限活用して費用を抑えた案	起終点間を最短で結び、かつ周辺集落との接続を確保する案	大きく迂回することで地すべり地帯の影響を最小化する案
政策目標	①安全性、走行性向上 ○幅員狭小・急カーブ解消 △急勾配区間(縦断勾配約8%)が残る	○幅員狭小・急カーブ解消 ○急勾配区間解消(縦断勾配4%以下)	○幅員狭小・急カーブ解消 ○急勾配区間解消(縦断勾配3%以下)
	②災害に強い道路ネットワークの構築 △局所改良のため、地すべりや冬期における防災機能面のリスクが残る	△地すべりブロックの境界付近を通過することで、リスクを最小化し、新たな代替路を確保	○地すべりブロックの影響を回避し、新たな代替路を確保
	③信頼性の高い物流機能の確保 △延長が最長、かつ急勾配区間(登坂車線設置済)が残り、物流ネットワーク強化に資する効果が小さい	○延長が最短かつ道路幾何構造上の課題が解消され、物流ネットワークの強化に資する	○延長はBルートと同程度、かつ縦断勾配が最も緩やかとなり、物流ネットワークの強化に資する
	④観光振興の促進 ○急カーブ等の解消により走行性が向上し、観光を支援	○急カーブ等の解消により走行性が向上し、観光を支援	○急カーブ等の解消により走行性が向上し、観光を支援
配慮すべき点	⑤自然環境・社会環境への影響 △現道改良であり、家屋、田畑等に影響を与える可能性有 △施工時の規制等、周辺集落に影響を与える可能性有	△集落、圃場を通過しており、影響を与える可能性有 △施工時の規制等、周辺集落に影響を与える可能性有	○集落、圃場を通過しないため、影響を与える可能性小 △工事に伴う掘削等の影響が大きい
	⑥将来道路網や土地利用計画等との整合 ○熊無集落へアクセス可能(現道改良のため、現況と同様) ○羽咋市、氷見市の将来計画を支援可能	○菅池町・論田集落へアクセス可能(新たな接続を確保) ○羽咋市、氷見市の将来計画を支援可能	×菅池町・論田・熊無集落に直接アクセスできない ○羽咋市、氷見市の将来計画を支援可能
	⑦概算費用 ○構造物の規模が最も小さく、道路本体の建設費が最も小さい	△構造物規模が中程度であり、道路本体の建設費が中程度	×構造物の規模が最も大きく、道路本体の建設費が最も大きい

(4) 調査内容

■ 広報チラシ

「ご意見募集中」 ～ご協力をお願いします～

国道415号富山・石川県境部
みちづくりに関するアンケート調査

本アンケートは、国道415号県境部の道路整備にあたり、計画の初期段階から、地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見を募り、計画に反映するものです。

今回は、道路のルート帯を選定する際に、重視すべき指標（走行性、安全性、利便性等）についてお伺いします。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

アンケート回答締め切り

2024年8月23日(金)まで

アンケート回答方法

◆スマートフォンから

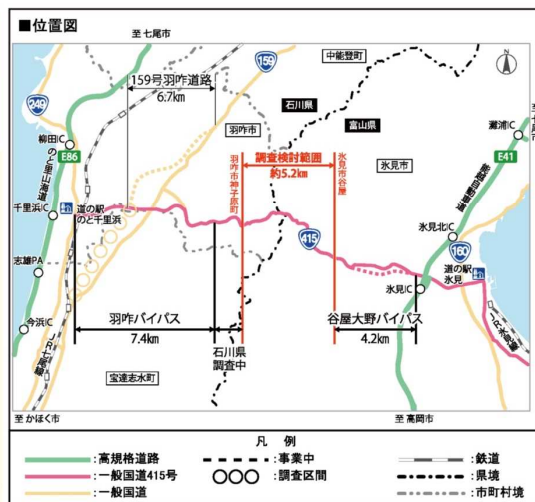
二次元コードから、国道415号県境部専用サイトにアクセスし、アンケートに回答してください。



◆ホームページから

富山県、石川県、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所、氷見市、羽咋市等のホームページにある新着情報やバナーから国道415号県境部専用サイトにアクセスし、アンケートに回答してください。

<URL>
<https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/hakuihimi/>



お問い合わせ先

■調査実施主体

富山県土木部 道路課
〒930-8501
富山県富山市新緑由緒1番7号
電話 076-444-3319 (直通)
URL <https://www.pref.toyama.jp>

石川県土木部 道路建設課
〒920-8580
石川県金沢市鞍月1丁目1番地
電話 076-225-1721 (直通)
URL <https://www.pref.shikawa.lg.jp/index2.html>

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 計画課
〒930-8537
富山県富山市奥田新町2番1号
電話 076-443-4717 (直通)
URL <https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 計画課
〒920-8648
石川県金沢市西念4丁目23番5号
電話 076-264-9912 (直通)
URL <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

■調査協力自治体

氷見市建設部 道路課
〒935-8686
富山県氷見市鞍川1060番地
電話 0766-74-8071 (直通)
URL <https://www.city.himi.toyama.jp>

羽咋市産業建設部 地域整備課
〒925-8501
石川県羽咋市旭町ア200番地
電話 0767-22-1119 (直通)
URL <https://www.city.hakui.lg.jp>

■ 広報ポスター

国道415号富山・石川県境部
みちづくりに関するアンケート調査

みなさまのご意見をお聞かせください！

アンケート回答締め切り
2024年8月23日(金)まで

アンケート回答方法

◆スマートフォンから

二次元コードから国道415号県境部専用サイトにアクセスし、アンケートに回答してください。

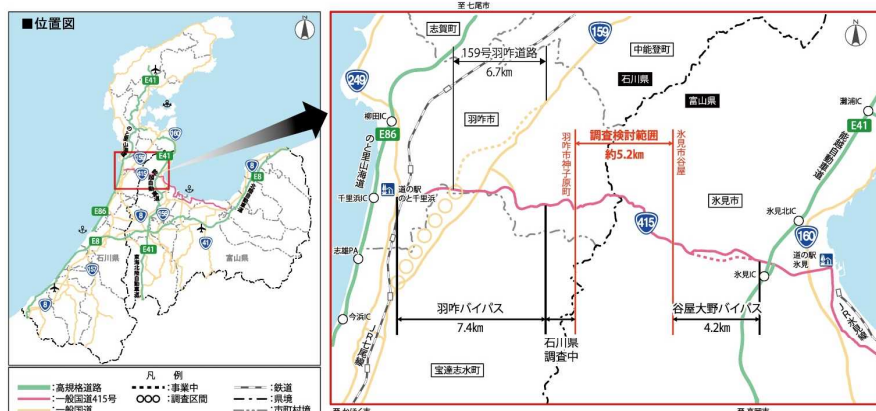
<二次元コード>



◆ホームページから

富山県、石川県、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所、氷見市、羽咋市等のホームページにある新着情報やバナーから国道415号県境部専用サイトにアクセスし、アンケートに回答してください。

<URL>
<https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/hakuihimi/>



お問い合わせ先

■調査実施主体

富山県土木部 道路課
〒930-8501
富山県富山市新緑由緒1番7号
電話 076-444-3319 (直通)
URL <https://www.pref.toyama.jp>

石川県土木部 道路建設課
〒920-8580
石川県金沢市鞍月1丁目1番地
電話 076-225-1721 (直通)
URL <https://www.pref.shikawa.lg.jp/index2.html>

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 計画課
〒930-8537
富山県富山市奥田新町2番1号
電話 076-443-4717 (直通)
URL <https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 計画課
〒920-8648
石川県金沢市西念4丁目23番5号
電話 076-264-9912 (直通)
URL <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

■調査協力自治体

氷見市建設部 道路課
〒935-8686
富山県氷見市鞍川1060番地
電話 0766-74-8071 (直通)
URL <https://www.city.himi.toyama.jp>

羽咋市産業建設部 地域整備課
〒925-8501
石川県羽咋市旭町ア200番地
電話 0767-22-1119 (直通)
URL <https://www.city.hakui.lg.jp>

2-1. 意見聴取の実施内容

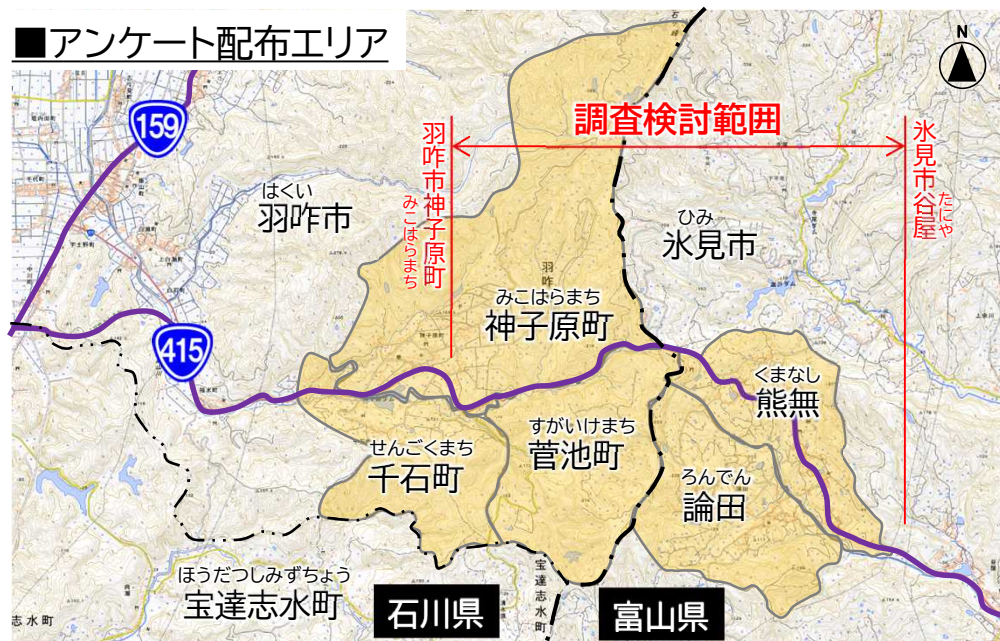
(5) 意見聴取の実施概要

- アンケート及びヒアリングによる意見聴取を以下の通り実施。
アンケート実施期間: 令和6年8月6日(火)～23日(金) ※約3週間
ヒアリング実施期間: 令和6年8月9日(金)～28日(水) ※約3週間
- 地域住民以外の道路利用者からも広くご意見を募集するにあたり、HP・SNS等を活用した。

意見聴取実施概要

アンケート			配布数	回収数
一般	配布	氷見市熊無	102	94
		〃 論田	112	76
		羽咋市神子原町	94	47
		〃 千石町	20	21
		〃 菅池町	21	22
	その他	ポスター・チラシ・HP・SNS等	—	795
合計			349	1,055
ヒアリング			実施数	
事業者	各市の商業系・運輸系企業など		11企業	
団体	自治体・警察・消防・小中学校など		11団体	
地区	氷見市(熊無・論田) 羽咋市(神子原町・千石町・菅池町)		2地区	
合計			24事業者・団体・地区	

アンケート配布エリア

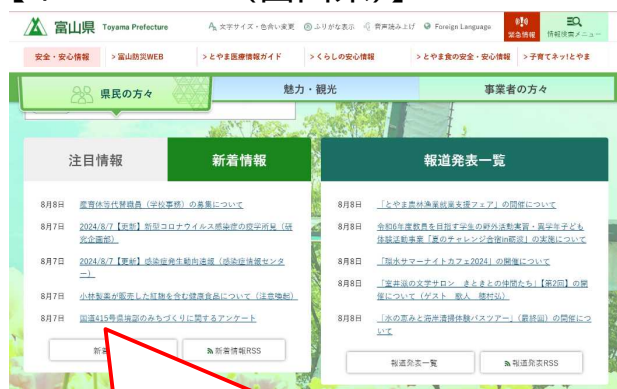


事業者・団体・地区ヒアリング先の内訳

項目		富山県・氷見市	石川県・羽咋市	合計
事業者	商業系	2	2	4
	運輸系	2	2	4
	交通系	2	1	3
団体	消防機関	1	1	2
	警察機関	1	1	2
	地方自治体	2	2	4
	教育機関	1	2	3
地区	代表者	1	1	2
合計		12	12	24

広報

【ホームページ(富山県)】



8月7日 国道415号県境部のみちづくりに関するアンケート

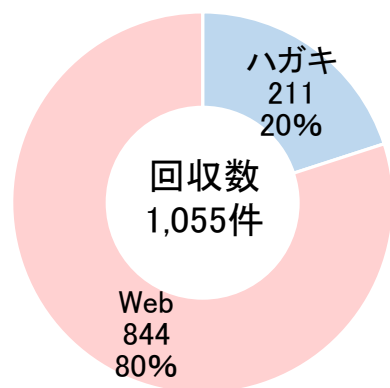
【X[旧Twitter]】 【LINE】



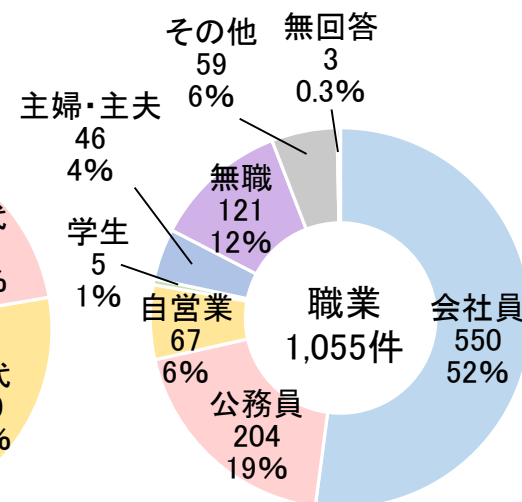
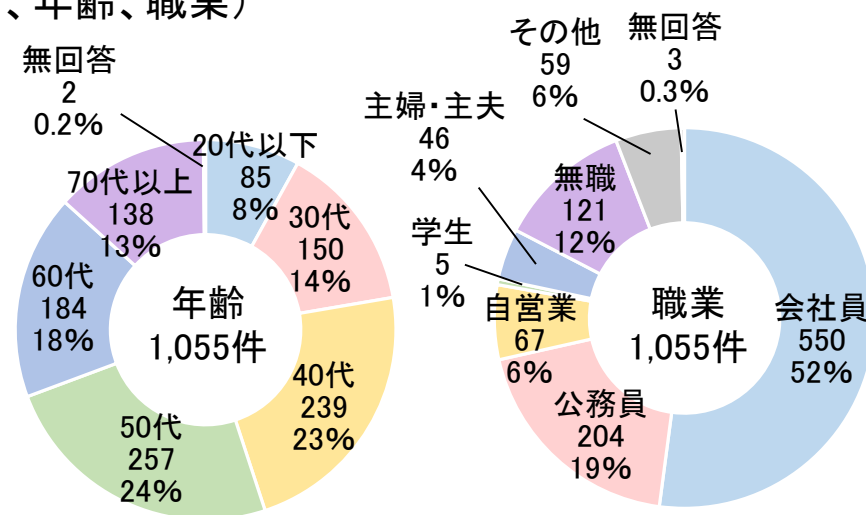
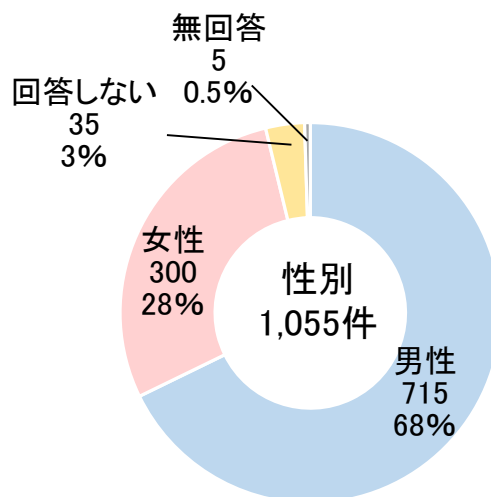
(1)回答者の属性

- 氷見市:熊無・論田、羽咋市:神子原町・千石町・菅池町に配布したハガキによる回答が約2割を占める。
- 回答者の性別は男性が約7割、年代は50代以下が約7割、職業は会社員・公務員・自営業が約8割を占める。
- 回答者のうち、氷見市内在住の方からの回答が約5割、羽咋市内在住の方からの回答が約2割を占める。
- 回答者のほとんどが運転免許保有者である。

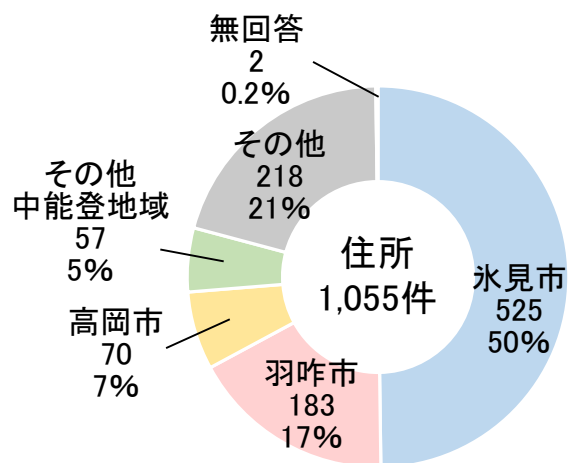
■アンケートの回収状況



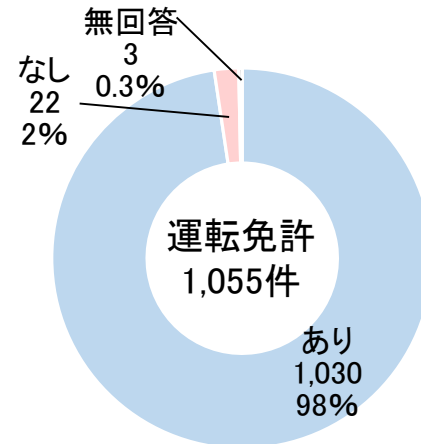
■回答者の個人属性(性別、年齢、職業)



■回答者の住所



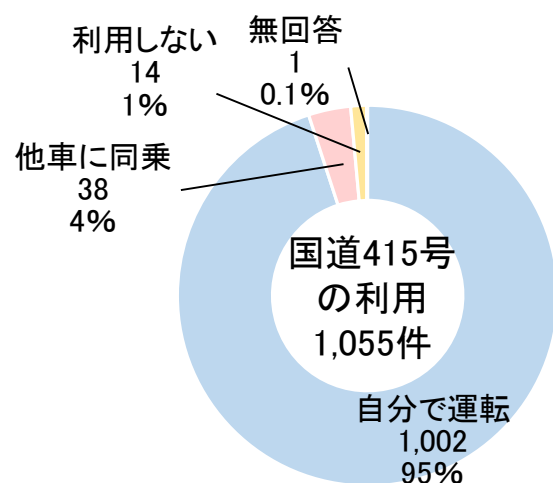
■回答者の運転免許の有無



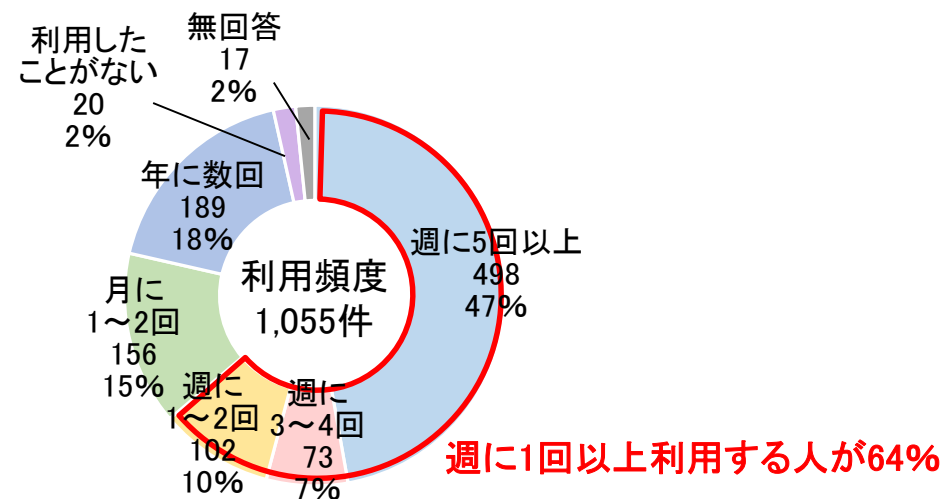
(2)問1:国道415号の利用(自動車の運転・利用頻度・目的・目的地)

- 回答者のうち、国道415号の利用は「自分で運転」または「他車に同乗」がほぼ全数を占める。
- 回答者のうち、国道415号の利用頻度は週1回以上が約6割を占める。
- 回答者の利用目的は、「私用・その他」が約5割と最も多く、次いで「通勤・通学」が約4割と多い。
- 回答者の目的地は、「氷見市」「羽咋市」がともに約3割と最も多く、次いで「高岡市」が約1割と多い。

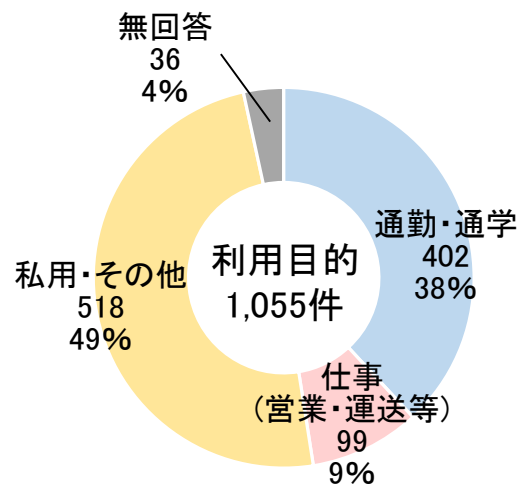
■回答者の国道415号の利用【問1.A】



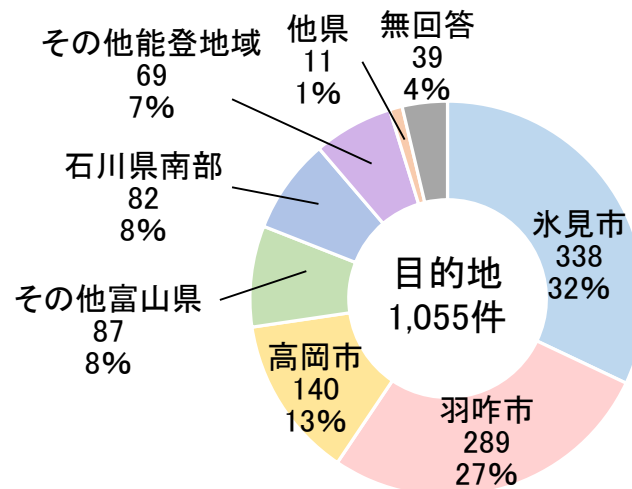
■対象区間の利用頻度【問1.B】



■対象区間の利用目的【問1.C】



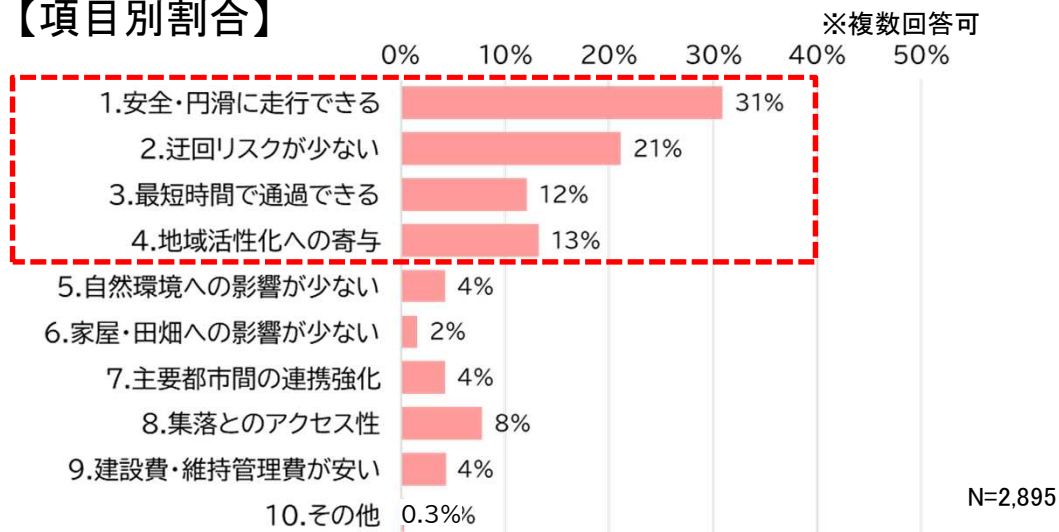
■対象区間の目的地【問1.D】



(3)問2:地域にとって望ましいルート帯を選定するために重視すべき項目

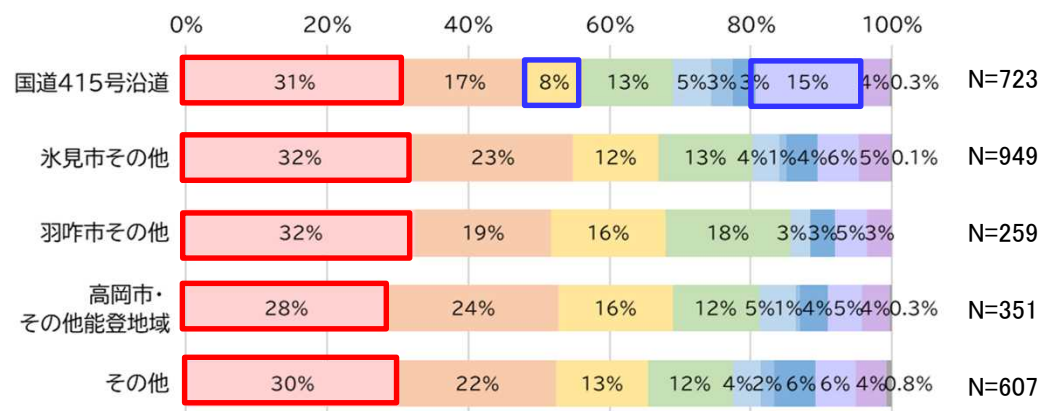
- 「安全・円滑に走行できる」が約3割と最も多く、次いで「迂回リスクが少ない」が多い。
- 住所、年齢、利用頻度に関係なく、「安全・円滑に走行できる」「迂回リスクが少ない」が上位1位・2位である。
- 住所が国道415号沿道、年齢が70代以上では「最短時間で通過できる」の割合が低下し、「集落とのアクセス性」の割合が向上する。

【項目別割合】



【住所×問2】

注 住所が無回答の方を除く



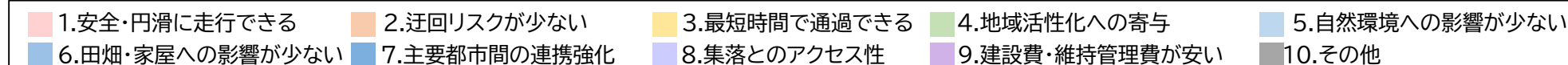
【年齢×問2】

注 年齢が無回答の方を除く



【利用頻度×問2】

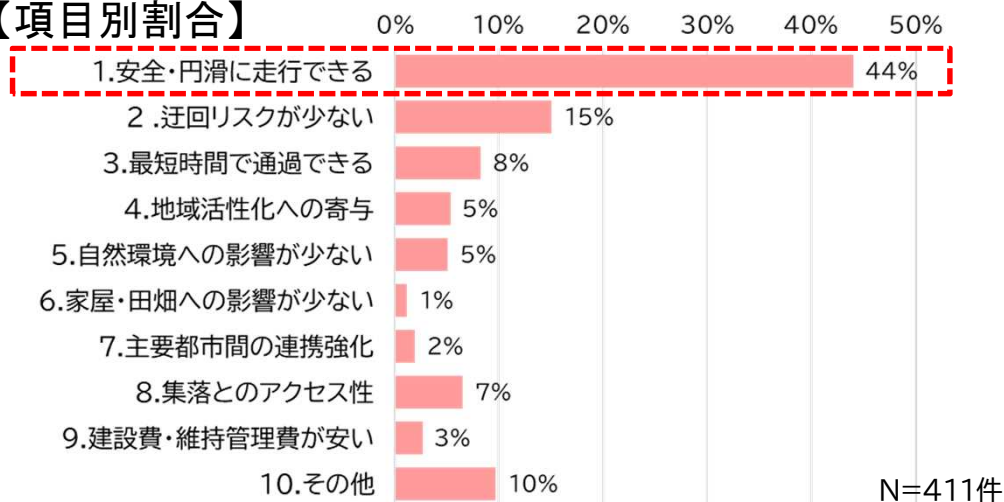
注 利用頻度が無回答の方を除く



(4)問3:今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項

- アンケート回答者のうち、約4割(=411/1,055件)の方から具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項についての回答あり。
- 「安全・円滑に走行できる」に関する事項が最も多く、道路の構造、夜間や冬期の走行に対する自由意見が多い。

【項目別割合】



■ 配慮すべき事項に関する主な自由意見

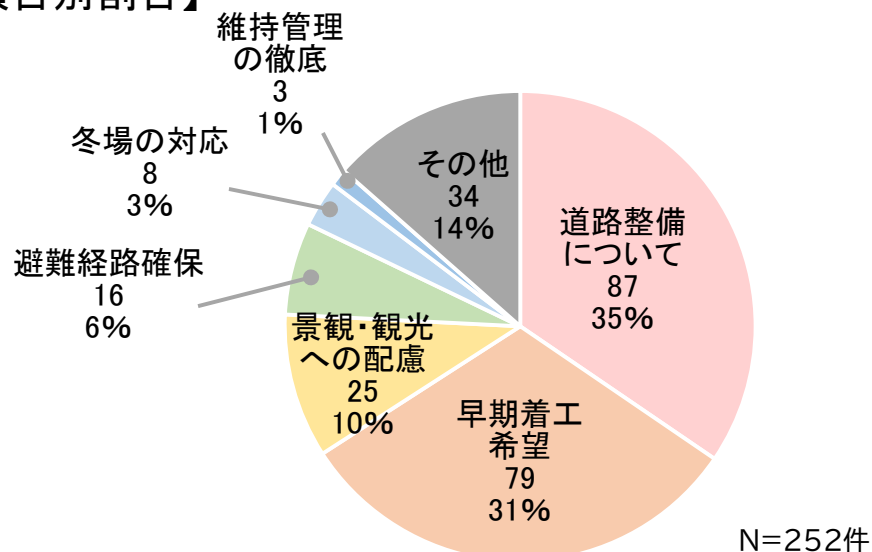
主な意見
1. 安全・円滑に関する意見【意見数：181件】 ・ 冬期は道路が凍りやすくスリップしやすいので、そうならないように考慮してほしい。 ・ 山道で事故が多発する為、安全を重視する。夜間照明や凍結防止対策をしてほしい。 ・ 道幅が広く、歩行者分離がされて安全に走行できる道路であれば良い。 ・ 地域の高齢化が進んでいることや観光・産業への活用のため、安全に走行しやすい道路整備が必要。
2. 迂回リスクに関する意見【意見数：62件】 ・ 大地震などの災害時にスムーズに避難できるルートが増えるのは重要。 ・ 地すべり、洪水、土砂災害などの自然災害が起きても耐えられるルートが望ましい。 ・ 冬期に大型車の立ち往生による通行止めにならない様に対策してほしい。

主な意見
3. 最短時間に関する意見【意見数：34件】 ・ トンネルを含め短時間で往来できるようにしてほしい。 ・ 勾配が解消されて短時間で通れるルート。
4. 地域活性化に関する意見【意見数：22件】 ・ 沿道店舗や天狗林健康広場の利用と今後の発展的活用を考慮した整備案にしてほしい。 ・ 観光地の千里浜と氷見を繋ぐ重要なルートであり能登や富山へのアクセスの起点となる。道の駅などインフラ整備が大切。
5. 自然環境に関する意見【意見数：21件】 ・ 綺麗な水が豊富に沸いている土地のため、その貴重な水を汚す事のない選択が最適。 ・ 広大な棚田が広がっているので、景観の保全にも配慮してほしい。
6. 家屋・田畑に関する意見【意見数：5件】 ・ 民家の移動などは避けてほしい。
7. 主要都市間の連携強化に関する意見【意見数：8件】 ・ 高規格道路である能越自動車道およびのと里山海道との連携。 ・ 自動車専用道路へのアクセスが容易になると嬉しい。
8. 集落とのアクセス性に関する意見【意見数：27件】 ・ 周辺集落へのアクセスと安全な走行ができること。 ・ 集落が孤立しないようにアクセスしやすいようにしてほしい。
9. 建設費・維持管理費に関する意見【意見数：11件】 ・ 将来的な維持管理コストを最優先に考慮してほしい。
10. その他に関する意見【意見数：40件】 ・ 国道8号や国道156号と比較すると過疎地域を繋ぐ道路なので、なるべく早く供用開始できると効果があると思う。 ・ これまでの道路はそのままだと負担が増すだけなので、まちづくりの観点からも持続可能な整備が必要である。

(5)問4:その他(国道415号に関する意見)

- 現在の国道415号の道路構造の課題(狭い道路幅、急勾配など)を踏まえた「道路整備について」の意見が多い。
- 地域活性化、能登半島地震を踏まえた防災意識を背景に、「早期着工」を望む意見が多い。

【項目別割合】



■アンケート調査における自由意見

主な自由意見

1. 道路整備に関する意見【意見数：87件】

- ・冬期でも安心して通行できるようにしてほしい。
- ・大型トラックとのすれ違いに余裕があるように車道を幅広く、すれ違いを安全にしてほしい。
- ・歩行者、自転車にも安全を配慮された道路にしてほしい。
- ・国道415号は氷見・羽咋間を結ぶ重要な役割を担う道路なので、より安全に走行ができるような道路を整備してほしい。また、近年整備したバイパス部分で交通量の増加が起きているので、安全に走行ができるよう拡幅やバイパスの整備をしてほしい。
- ・高岡から能越道まではスムーズに運転しやすいが、氷見羽咋間の山道に時間がかかる。将来的な自動運転時代を見据えて道路を作してほしい。

主な自由意見

2. 早期着工希望に関する意見【意見数：79件】

- ・高齢化に伴う人口減少対策の為にも早期完成してほしい。移住、定住含めて地域活性化の為にも早期に完成してほしい。
- ・大きな災害もあり道路整備計画を見直す事も大切だと改めて考えさせられた。これからの北陸のためによりしくお願いします。
- ・元旦の地震以降、能登へのアクセスには重要な道路になっているので早期の着工をお願いしたい。

3. 景観・観光に関する意見【意見数：25件】

- ・神子原の自然や景観は維持するべき。
- ・能登地方は観光資源が豊富であるため、半島を横断する道路のアクセスが良くなれば集客の増加が見込まれると思う。

4. 災害時の避難等に関する意見【意見数：16件】

- ・大災害避難道路など多面的な重要性がある。
- ・この国道415号はUPZ圏内であり、人命を守るため、防護措置後の避難道路である。

5. 冬場の対応に関する意見【意見数：8件】

- ・冬場の除雪にもう少し気配りしてほしい。特に、下り坂の除雪が不十分だと滑る。熊無の坂道では冬場の事故が多い。早朝の除雪やもう少し深い除雪が望ましい。

6. 維持管理の徹底に関する意見【意見数：3件】

- ・維持管理コストを明確にしてから工事に着手してほしい。

7. その他の意見【意見数：34件】

- ・氷見-羽咋間交流の潜在的可能性は大きく、道路とあわせそのビジョンをしっかりと検討してほしい。
- ・簡単に往来が出来るようにして、相互の交流の場を増やし、共に発展することを望みます。
- ・人口も減り利用者が減るので現状で良い。

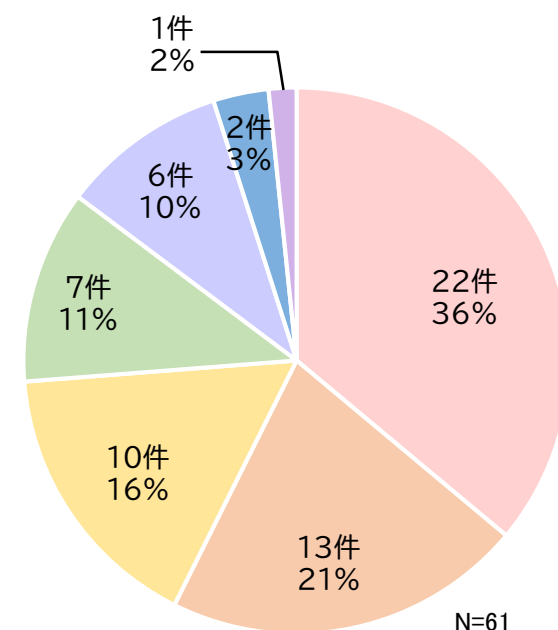
(1) ルート帯を選定するために重視すべき項目

- ヒアリング調査では、「安全・円滑に走行できる」「迂回リスクが少ない」「最短時間で通過できる」を重視する意見が最も多く寄せられた。

■ルート帯を選定するために重視すべき項目(24企業・団体・地区代表者)

項目	区 分		ヒアリング先	ルート帯を選定するために重視すべき項目
事業者	商業系	富山県	小売業	○安全・円滑に走行できる○最短時間で通過できる○地域活性化への寄与
			製造業	○安全・円滑に走行できる
		石川県	建設業①	○最短時間で通過できる
			建設業②	○安全・円滑に走行できる○最短時間で通過できる○地域活性化への寄与
	運輸系	富山県	運送業①	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○最短時間で通過できる
			運送業②	○安全・円滑に走行できる○最短時間で通過できる
		石川県	運送業③	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○最短時間で通過できる
			運送業④	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○最短時間で通過できる
	交通系	富山県	交通事業者①	○安全・円滑に走行できる○最短時間で通過できる○主要都市間の連携強化
			交通事業者②	○安全・円滑に走行できる○集落とのアクセス性
石川県		交通事業者③	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○地域活性化への寄与	
団体	消防 機関	富山県	氷見市消防本部	○迂回リスクが少ない○最短時間で通過できる
		石川県	羽咋郡市広域圏事務組合	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない
	警察 機関	富山県	氷見警察署	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない
		石川県	羽咋警察署	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない
	地方 自治体	富山県	富山県	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○地域活性化への寄与 ○主要都市間の連携強化○集落とのアクセス性○建設費・維持管理費が安い
			氷見市	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○集落とのアクセス性
		石川県	石川県	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○地域活性化への寄与
			羽咋市	○安全・円滑に走行できる○最短時間で通過できる○地域活性化への寄与 ○集落とのアクセス性
	教育 機関	富山県	氷見市立小中学校	○安全・円滑に走行できる
		石川県	羽咋市立小学校	○安全・円滑に走行できる
羽咋市立中学校			○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○集落へのアクセス性	
地区 代表者	富山県	氷見市	氷見市町内会	○安全・円滑に走行できる○集落とのアクセス性
	石川県	羽咋市	羽咋市町内会	○安全・円滑に走行できる○迂回リスクが少ない○地域活性化への寄与

■ヒアリング全体における意見数及び割合(24企業・団体・地区代表者)

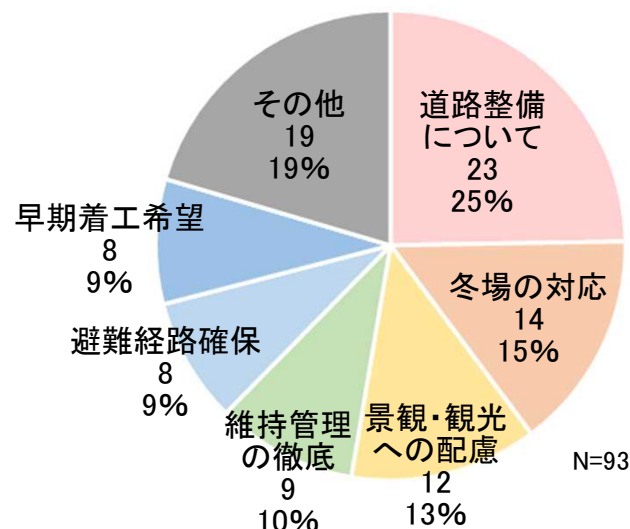


- 安全・円滑に走行できる
- 迂回リスクが少ない
- 最短時間で通過できる
- 地域活性化への寄与
- 集落とのアクセス性
- 主要都市間の連携強化
- 建設費・維持管理費が安い

(2) 国道415号に関する主な意見

- 現在の国道415号の道路構造の課題(狭い道路幅、急勾配など)に起因した「道路整備」に関する意見が多い。次いで、「冬場の対応」「景観・観光への配慮」に関する意見が多い。

【項目別割合】



■ヒアリング調査における意見

主な意見

1. 道路整備に関する意見【意見数：23件】

- ・急勾配・急カーブが解消され、冬期も安全に安心して通行できる道路が望ましい。
- ・幅員が広ければ、大型車のすれ違いも容易になり、正面衝突の回避や、歩行者や自転車の安全も確保しやすいと考える。
- ・積雪時の視界不良や路面凍結などのリスクもあり、夜間照明も不十分。
- ・患者は集落にいるため、現国道415号沿いの集落へのアクセス性が重要。
- ・バス利用者がいるため、集落とのアクセス性に配慮してほしい。
- ・産業面を考慮すると、AルートよりもB・Cルートが良いと思う。

主な意見

2. 冬場の対応に関する意見【意見数：14件】

- ・冬期は現国道415号の路面凍結が怖い。走行時は、縦断勾配・道路幅に細心の注意を要する。
- ・冬場に雪の重みで木が道路に覆いかぶさり交通障害となった事例あり。

3. 景観・観光への配慮に関する意見【意見数：12件】

- ・令和6年能登半島地震を受けて、広域観光の観点でも羽咋市から氷見市に抜けるルートの重要性が高まっている。
- ・大型観光バスの利用ができれば、バス遠足等の行き先に富山方面など選択肢が増える。

4. 維持管理の徹底に関する意見【意見数：9件】

- ・谷屋側（終点部）及び県境部の石川県側は、道路脇に雑木が生い茂っており、見通しが悪く、道路にはみ出して通行の妨げとなっている。
- ・菅池町をはじめ、地震によって道路の端（路肩）に亀裂が生じており、十分な補修が行き渡っていない。

5. 災害時の避難等に関する意見【意見数：8件】

- ・津波警報発令後、避難車で渋滞した。非常時に富山から石川に抜ける道路は必要であり、選択肢の1つとして国道415号は重要。
- ・雪に強く、災害に強い道路を整備してほしい。国道415号は志賀原発からの避難路の一つ。

6. 早期着工希望に関する意見【意見数：8件】

- ・国道415号は急カーブが多いため、早く整備してほしい。
- ・早期に、冬期も安全・円滑に走行できる道路が整備されるよう願う。

7. その他の意見【意見数：19件】

- ・国道415号は運送業にとっては、羽咋市側へ行くために最も便利な道路であるため交通量も多い。
- ・一刻も早く救急搬送すべきだが、揺れにより傷病者の体調悪化に繋がる可能性がある場合、速度を落として走行する。

ルート帯を選定するために重視すべき項目

	【住民※アンケート (各回答の選択率)】				【一般※アンケート (各回答の選択率)】				【企業等ヒアリング (各回答の選択率)】						
	総回答者数:260人			総回答者数:795人			総回答企業数:24社								
ルート帯を選定するために重視すべき項目	0%	50%	100%	選択者数 (選択率)	順位	0%	50%	100%	選択者数 (選択率)	順位	0%	50%	100%	選択企業数 (選択率)	順位
①交通事故が少なく、冬期にも安全・円滑に走行できること				223人 (86%)	1位				672人 (85%)	1位				22社 (92%)	1位
②事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと				125人 (48%)	2位				487人 (61%)	2位				13社 (54%)	2位
③最短時間で通過できること				58人 (22%)	5位				293人 (37%)	3位				10社 (42%)	3位
④中心市街地へのアクセス性に優れ、観光客の来訪を促進し、地域の活性化および観光振興に寄与すること				93人 (36%)	4位				290人 (36%)	4位				7社 (29%)	4位
⑤自然環境への影響が少ないこと				39人 (15%)	6位				84人 (11%)	8位				0社 (0%)	8位
⑥家屋・田畑等への影響が少ないこと				22人 (8%)	9位				24人 (3%)	9位				0社 (0%)	8位
⑦周辺市町の活性化につながる将来開発を支援すること				23人 (9%)	8位				101人 (13%)	6位				2社 (8%)	6位
⑧集落とのアクセス性に配慮していること				106人 (41%)	3位				121人 (15%)	5位				6社 (25%)	5位
⑨建設費・維持管理費が安いこと				32人 (12%)	7位				93人 (12%)	7位				1社 (4%)	7位
⑩その他				2人 (1%)	10位				7人 (1%)	10位				0社 (0%)	8位

【意見聴取結果より特に重視する項目】

- 住民が重視する上位3項目をベースに一般と企業等が重視する上位3項目から不足分を補足して「住民及び企業が特に重視する項目」とする。「住民及び企業が特に重視する項目」は以下の4項目とする。
 1. 交通事故が少なく、冬期にも安全・円滑に走行できること(住民1位、一般1位、企業1位)
 2. 事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと(住民2位、一般2位、企業2位)
 3. 最短時間で通過できること(住民5位、一般3位、企業3位)
 8. 集落とのアクセス性に配慮していること(住民3位、一般5位、企業5位)

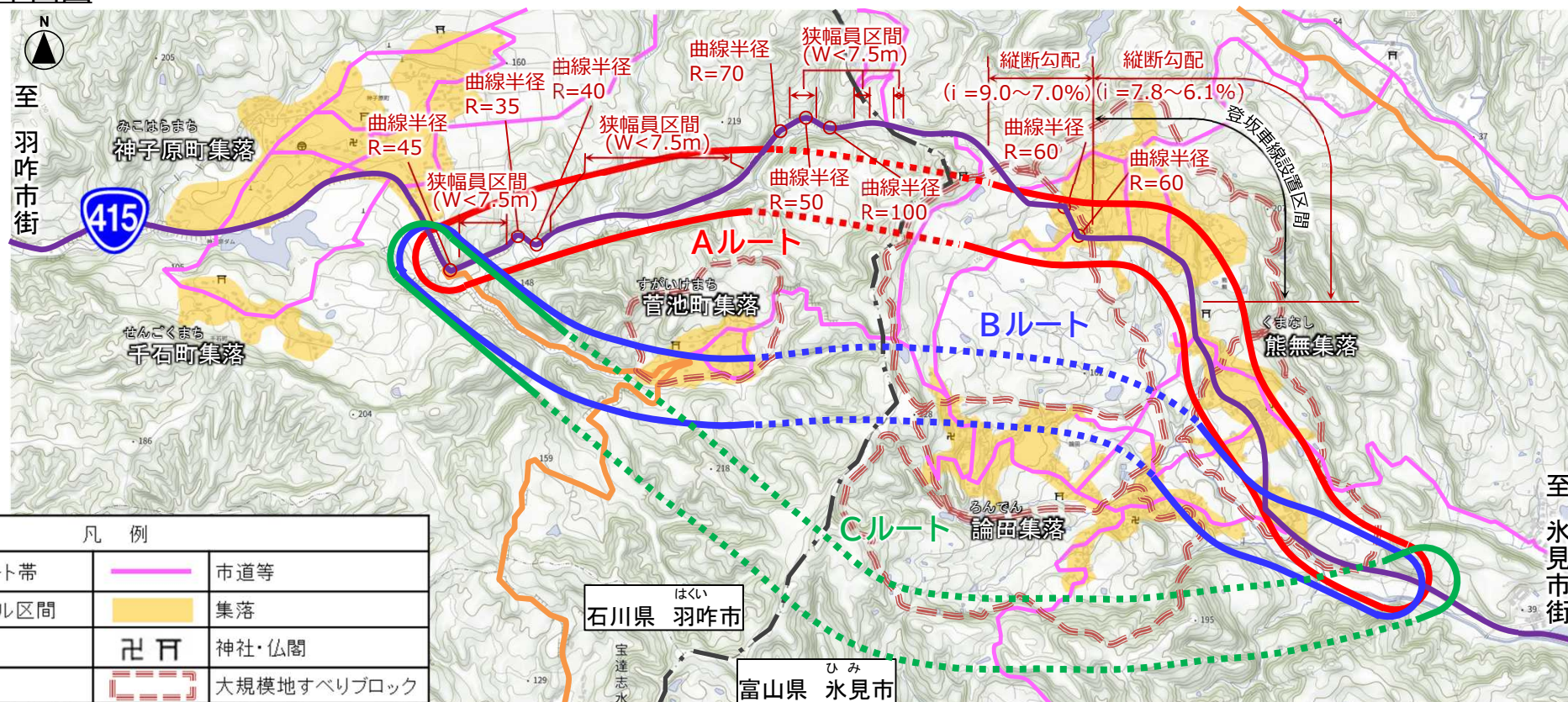
※氷見市熊無・論田、羽咋市神子原町・千石町・菅池町在住の方を『住民』に、これ以外は『一般』とした。

3. 対応方針(案)の検討

(1) 複数案の比較

- 前回の有識者委員会以降の検討状況も追加した上で、政策目標を達成するための対策案として3案を設定。

■ ルート帯平面図



■ ルート帯の概要

ルート名	延長	設計速度	車線数	建設費	ルート帯設定主旨
Aルート帯	約5.4km	50km/h	2車線	330～400億円	現道を最大限活用して費用を抑えた案
Bルート帯	約4.8km	50km/h	2車線	350～430億円	起終点間を最短で結び、かつ周辺集落との接続を確保する案
Cルート帯	約5.0km	50km/h	2車線	410～500億円	大きく迂回することで地すべり地帯の影響を最小化する案

(2) ルート帯選定で重視するポイント

- 意見聴取で確認した「ルート帯を選定するために重視すべき項目(9項目＋その他)」の調査結果を踏まえ、「ルート帯選定で重視するポイント」を設定。

ルート帯選定のポイント

①生活交通の安全性を確保し、広域交通へ走行性に優れた規格の高い交通サービスを提供し、冬期にも安全・安心に通行できること

②災害時の迂回による社会経済活動や生活への影響を最小限に留め、エッセンシャルネットワークと接続し、地域活動活性化、災害復興に寄与すること

③物流拠点と広域交通結節点を最短時間で結び、信頼性の高い物流経路を確保すること

④観光客の来訪を促進し、地域の活性化および観光振興に寄与すること

⑤自然環境、社会環境への影響に配慮すること

⑥将来道路網や土地利用計画などの将来計画との整合に配慮すること

⑦建設費や維持管理に配慮すること

ルート帯を選定するために重視すべき項目

①交通事故が少なく、冬期にも安全・円滑に走行できること

②事故や災害による通行止めや広域迂回が起きにくいこと

③最短時間で通過できること

④中心市街地へのアクセス性に優れ、観光客の来訪を促進し、地域の活性化および観光振興に寄与すること

⑤自然環境への影響が少ないこと

⑥家屋・田畑等への影響が少ないこと

⑦周辺市町の活性化につながる将来開発を支援すること

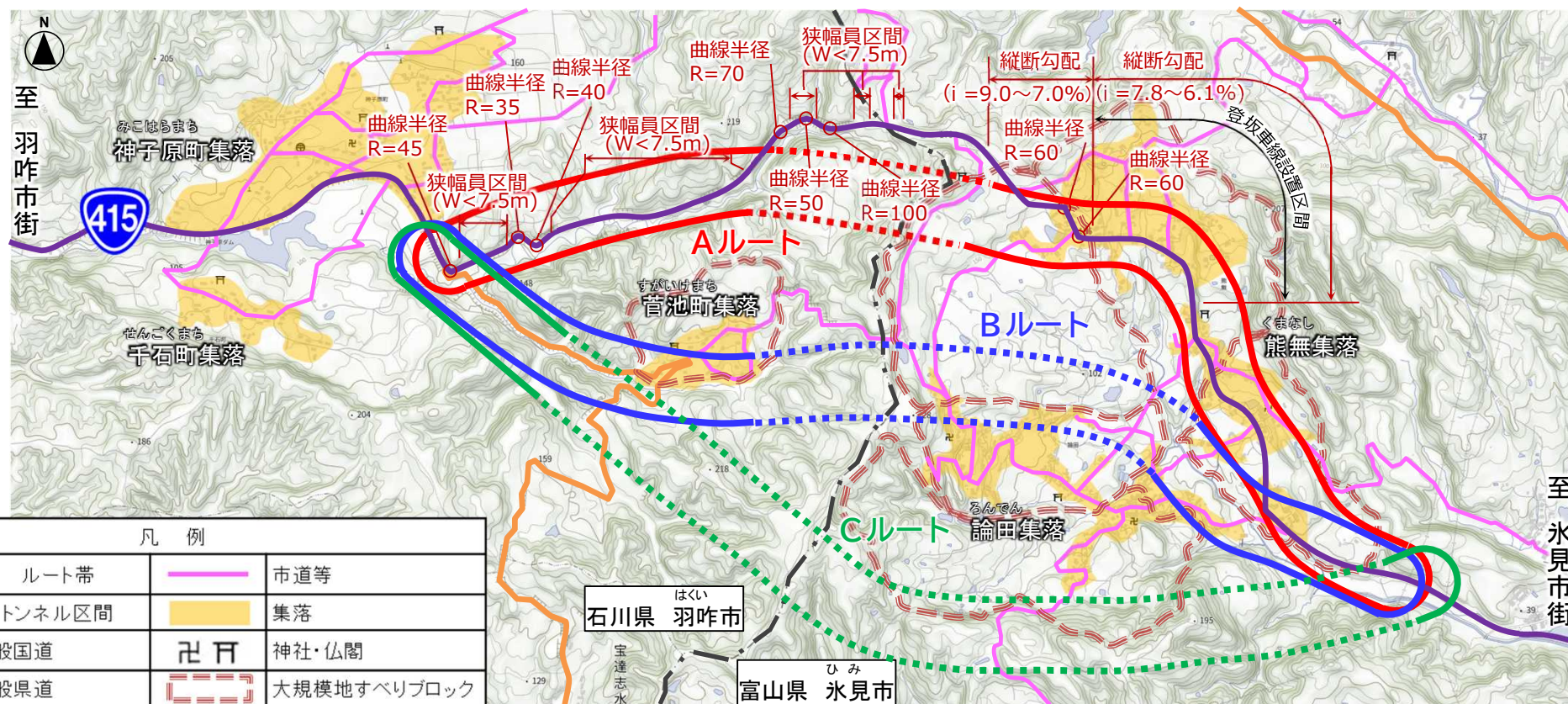
⑧集落とのアクセス性に配慮していること

⑨建設費・維持管理費が安いこと

⑩その他

ルート帯選定で重視するポイント

住民、一般及び企業等が特に重視する項目

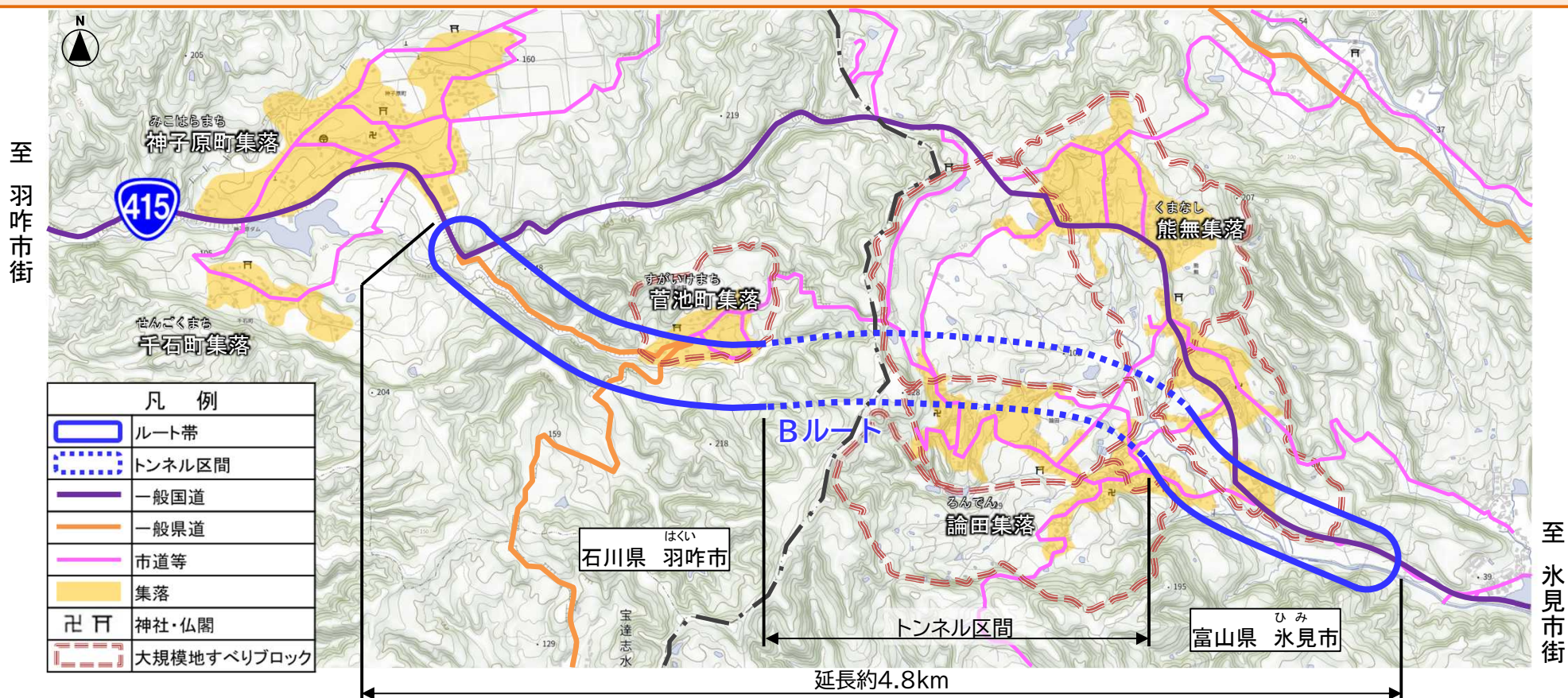


		Aルート（5.4km）	Bルート（4.8km）	Cルート（5.0km）	意見聴取		
					住民	一般	企業
ルート帯の概要		現道を最大限活用して費用を抑えた案	起終点間を最短で結び、かつ周辺集落との接続を確保する案	大きく迂回することで地すべり地帯の影響を最小化する案	—	—	—
ルート帯選定ポイント	①安全性、走行性向上	○幅員狭小・急カーブ解消 △急勾配区間（縦断勾配約8%）が残る	○幅員狭小・急カーブ解消 ○急勾配区間解消（縦断勾配4%以下）	○幅員狭小・急カーブ解消 ○急勾配区間解消（縦断勾配3%以下）	86% (1位)	85% (1位)	92% (1位)
	②災害に強い道路ネットワークの構築	△局部改良のため、地すべりや冬期における防災機能面のリスクが残る	△地すべりブロックの境界付近を通過することで、リスクを最小化し、新たな代替路を確保	○地すべりブロックの影響を回避し、新たな代替路を確保	48% (2位)	61% (2位)	54% (2位)
	③信頼性の高い物流機能の確保	△延長が最長、かつ急勾配区間（登坂車線設置済）が残り、物流ネットワーク強化に資する効果が小さい	○延長が最短かつ道路幾何構造上の課題が解消され、物流ネットワークの強化に資する	○延長はBルートと同程度、かつ縦断勾配が最も緩やかとなり、物流ネットワークの強化に資する	22% (5位)	37% (3位)	42% (3位)
	④観光振興の促進	○急カーブ等の解消により走行性が向上し、観光を支援	○急カーブ等の解消により走行性が向上し、観光を支援	○急カーブ等の解消により走行性が向上し、観光を支援	36% (4位)	36% (4位)	29% (4位)
	⑤自然環境・社会環境への影響	△現道改良であり、家屋・田畑等に影響を与える可能性有 △施工時の規制等、周辺集落に影響を与える可能性有	△集落、圃場を通過しており、影響を与える可能性有 △施工時の規制等、周辺集落に影響を与える可能性有	○集落、圃場を通過しないため、影響を与える可能性小 △工事に伴う掘削等の影響が大きい	15% (6位)	11% (8位)	0% (8位)
	⑥将来道路網や土地利用計画などの整合	○熊無集落へアクセス可能（現道改良のため現況と同様） ○羽咋市、氷見市の将来計画を支援可能	○菅池町・論田集落へアクセス可能（新たな接続を確保） ○羽咋市、氷見市の将来計画を支援可能	×菅池町・論田・熊無集落に直接アクセスできない ○羽咋市、氷見市の将来計画を支援可能	41% (3位)	15% (5位)	25% (5位)
	⑦概算費用【参考】	330～400億円	350～430億円	410～500億円	12% (7位)	12% (7位)	4% (7位)

4. 対応方針(案)のまとめ

対応方針（案）

- 住民、一般及び企業等がルート帯選定において特に重視すべきポイントは、「安全性、走行性向上」、「災害に強い道路ネットワークの構築」、「信頼性の高い物流機能の確保」、「集落とのアクセス性」であり、この4点に優れる【Bルート帯】が優位となる。
- 以上より、対応方針として【Bルート帯】としたい。



■ルート帯の概要

延長	約4.8km
設計速度	50km/h
車線数	2車線

■ルート帯の特徴

- 急カーブや急坂が解消し、走行性・安全性が向上する。トンネル区間があり、冬期の降積雪の影響を小さくできる。
- 明かり区間は、降雨等による土砂災害のリスクがあるものの、地すべり対策によりリスクを小さくできる。
- 集落の外縁を通過するものの、急カーブや急坂が解消し、羽咋市～氷見市間のアクセス性が向上することで、観光支援効果が期待される。
- バイパス区間は、地形の改変が必要なため、用地買収や家屋支障が生じる。
- 氷見市論田と羽咋市菅池町の集落に直接アクセスすることができる。